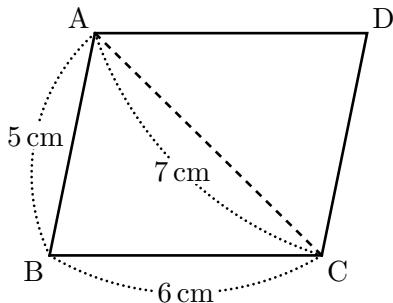


三角形の作図を2回使って、平行四辺形を作図しよう。

今までのサンプルの三角形の作図方法を組み合わせれば、平行四辺形は作図できます。

ああそんなことなくても、4つの辺の点が分かってるからいいです。そういうことは、おいておきましょう。



```
$begin{pszahyou*} [ul=6mm] (-1,8)(-1,5)
$tenretu{B(0,0)sw;C(6,0)se}
$Can{C}{5}$C{7}$AA$A...①
$Put$A[nw]{A}...②
$Can{A}{6}$C{5}$DD$D...③
$Put$D[ne]{D}...④
$Takakkei{$A$B$C$D}...⑤
$Hasen{$A$C}
$HenKo [*]<henkoH=3ex>$B$C{6,cm}
$HenKo [*]<henkoH=3ex>$A$B{5,cm}
$HenKo [*]<henkoH=3ex>$A$C{7,cm}
$end{pszahyou*}
```

①, ②で $\triangle ABC$ を作図し、点Aを決定した後、③, ④で $\triangle ACD$ を作図し、点Dを決定し、⑤で平行四辺形を描いている。これが手順である。いろいろ方法があるかもしれないが、私的にはこれがしっくりくる。これがあれば、斜めになった長方形や正方形も作図可能である。これに関しては、作品で紹介する。